教育・文化

再び、小平市の教育行政について

島村速雄議員（政和）　①全国学力テストは抽出に漏れても希望により参加できるよう改めたが、その方向に変化はないか。

②テストの実施方法をどのように学校に伝えたのか。

③前教育長と学校との関わりに圧力がかけられていないか。

教育長　①現在も変更はない。

②抽出校は文部科学省の決定どおり実施する方向で考えている。抽出されなかった学校は教育委員会が問題を取り寄せ、学校に送付の予定である。その上で各学校の判断で実施し、授業改善に活用することとした。

③学校長の判断に対して圧力をかけることはない。

小・中学校の周年式典の目的と効果は何か

常松大介議員（フォ）　①おおむね10年間隔で行われているが、教育的効果をどのように認識しているか。

②学校外部評価における周年行事の評価は。

教育長　①学校の歴史と伝統を意識し、今後の学校生活への意欲づけとなる。感謝の心と愛校心を醸成していく上でも効果を上げていると考える。

②学校が実施したアンケートでは8割が学校の歴史を知り、愛校心を高める良い機会になったと答えている。

◀学校周年記念式典（上宿小学校）

東京都の39人学級など教育方針の変更について

木村まゆみ議員（共産）　①都が実施する市立小・中学校1年生への教員加配の活用は。

②土曜日の授業実施に対する考えはどうか。

教育長　①小学校3校、中学校1校が対象となる可能性があり、加配教員の有効な活用方法の検討を進めている。

②実施については学校の判断とし、月2日を上限に公開授業やゲストティーチャーを招いた授業などを考えている。

小学校給食は市の直営で行うべき

木村まゆみ議員（共産）　①小平市立小学校給食あり方検討委員会の議論の概略は。

②正規調理員の退職に正規職員を補充しない理由は。

教育長　①食育の充実や職員の体制等を検討しており、詳細はホームページに掲載している。

市長　②市では技能労務職員の給与等の見直しに向けた取組方針を策定し、民間委託等を進めるなど職員定数の適正化を図るという考え方を示している。調理員などは再任用職員の活用等により、原則、退職者の補充はしない形で進めている。

▶小学校のランチルーム（小平第四小学校）

小1問題など教育課題に果敢に取り組むべき

立花隆一議員（公明）　①小1問題の調査結果とティーチングアシスタント拡充事業の効果は。

②中1ギャップに対する取り組みは。

教育長　①多くの事例が終結に向かっていると報告を受けているが、小学校の第一学年に配置することでよりきめ細かな対応を図っていきたい。

②問題は学習や進路に対する不安によるものとされていることから、教育研究発表会等を通し、小学校と中学校が連携して課題の共有化を図り、問題解決に向けた支援をしていきたい。

中1ギャップにどのように取り組むのか

宮寺賢一議員（政和）　①入学前の生徒の不安の内容は。

②適応のための対応策は。

③教員加配による影響は。また、その措置は十分か。

教育長　①主に学習や友達関係についてである。

②学校では生徒が溶け込みやすい集団づくりの取り組み、学習や生活のガイダンスなどの対応を、教育委員会では小・中学校での情報の連絡を充実させることが必要と考える。

③1校が加配の対象となる可能性がある。措置が十分かは実施の中で検証する必要がある。

ともに育ちともに学ぶまちをめざして

苗村洋子議員（生ネ）　①特別支援教育について、小・中学校の取り組みの課題は。

②大学や医療機関、療養施設など、外部機関との連携をどのように進めていくのか。

教育長　①特別な支援を必要とする子どもも含め、どの子にもわかりやすい授業を展開することが大切ととらえている。

②小平市特別支援教育総合推進計画の策定委員会に外部機関の方にも参加してもらい、一層の連携強化を図っていく。

子どもの自立と創造力をはぐくむ学校図書館の環境整備を

岩本博子議員（生ネ）　①中学校に学校図書館協力員を配置したが、効果と課題は。

②学校図書館の専任司書の配置について今後の展望は。

教育長　①学校司書教諭等と連携し調べ学習への協力を行い、学校図書館の活性化が図られ各学校から評価されている。協力員の活用により今まで以上に学校図書館を活性化していけるかが課題である。

②来年度から全校に協力員の配置を予定しているため、現在は考えていない。

新春歩け歩けのつどいはやはり元旦がいい

宮寺賢一議員（政和）　①開催日が変更になった理由は。

②参加者をふやす工夫は。

③かつてのように元旦に実施する考えはないか。

教育長　①小平市民憲章推進協議会と協議し、参加者や協力者が参加しやすいよう三が日を除いた最初の日曜日にした。

②市報、ホームページ、公共施設等へのポスター掲示等で参加を呼びかけている。

③変更して2年目であり、現在は考えていない。

◀新春歩け歩けのつどい

子どもたちの学ぶ権利を守ろう

日向美砂子議員（生ネ）　①就学援助手続きや給食費滞納の際、保護者とのコミュニケーションをどのようにとっているか。

②家庭の経済状況による課題解決のため、スクールソーシャルワーカーに期待できる役割は。

教育長　①就学援助手続きでは個別面談などを通して制度の案内をしている。滞納には分納や福祉的制度等の紹介をしている。

②経済状況等により不登校となってしまう児童・生徒に対して、教職員と関係機関等との調整・連携を図ることで、解決に向けた対応が期待できる。

防災・安全

小平市の防災・防犯について

川里春治議員（政和）　①住宅用火災警報器の設置率は。

②災害の発生や、状況等の市民への周知は。

③障害者や高齢者への対応は。

市長　①小平消防署から約56%と聞いている。

②防災行政無線等により情報を正確かつ速やかに提供し、市民が適切に判断して行動がとれるよう備えている。

③平成23年度までにモデル地区を選定し、自主防災組織などと連携して災害時要援護者名簿の共有や個別の避難支援のあり方などを点検・検証していく予定である。

振り込め（還付金）詐欺撲滅宣言は行われたのか

滝口幸一議員（フォ）　①宣言は行われたのか。

②被害の発生件数と総額は。また特徴的な手口は。

③（仮称）安全安心まちづくり協議会は設立されたのか。

市長　①2月21日の小平防犯協会40周年記念式典で宣言した。

②小平警察署から、平成21年中の被害件数は11件、被害総額は1千2百万円と聞いている。特徴的な手口はオレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資補償金詐欺とのことである。

③協議会の設立については現在調整している。

掲載分以外の質問項目

【健康・医療】

・小平市国民健康保険事業の運営は適切だったか

一般質問のまとめ

平成19年6月定例会～平成22年3月定例会

◆質問者数・件数

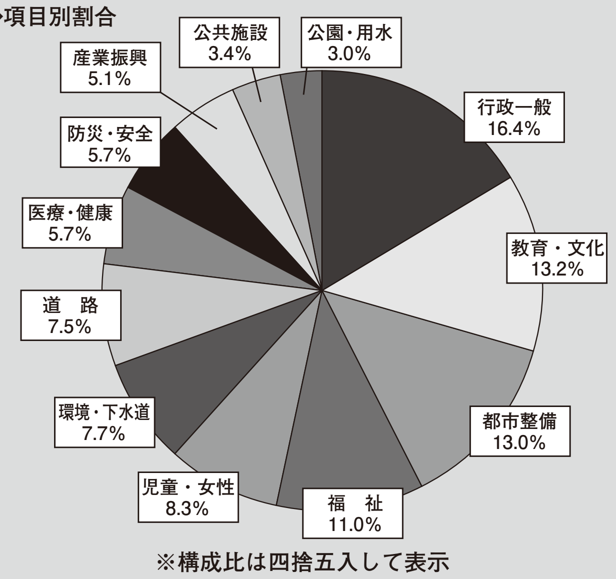
定例会名	質問者数	質問件数
19年 6月	24	65
19年 9月	24	64
19年12月	24	70
20年 3月	23	65
20年 6月	23	64
20年 9月	23	59
20年12月	24	62
21年 3月	23	57
21年 6月	23	58
21年 9月	23	57
21年12月	23	63
22年 3月	22	59
合計	279	743
平均	23.3人	61.9件

◆項目別件数

項目	件数
行政一般	122
教育・文化	98
都市整備	97
福祉	82
児童・女性	62
環境・下水道※	57
道路	56
医療・健康	42
防災・安全	42
産業振興	38
公共施設	25
公園・用水	22
合計	743件

※198号までは「環境・上下水」

◆項目別割合



※構成比は四捨五入して表示